

「車いす空の旅事業」招待者をお見送り

神奈川県福祉事業協会会長でもある神奈川県遊技場協同組合・平川正寿理事長は車いす生活者とその家族 20 組 40 名、ボランティアの方々など総勢 73 名が羽田空港から旅立つに当って、旅行の無事を祈ってお見送りしました。

1 日 時 平成 19 年 9 月 6 日 午前 10 時 ～

2 場 所 羽田空港内施設

3 状 況 この、お見送りについては、神奈川新聞厚生文化事業団が行っている「車いすの旅事業」に対して、昭和 60 年以降、毎年 300 万円を支援金として寄贈していることが経緯となっています。（福祉トピックス【4】参照）

今回が 2 回目の参加という女性（障害者の母親、で付き添いとして参加）は、「私も年をとってしまい、介護をしながら旅行をすることは難しくなりました。8 年前にこの「空のたび」に参加して、この「空の旅」が自信となって、家族で「沖縄旅行」にも行きました。今回もわくわくしています。」と、楽しそうに話してくれました。

平川理事長の「みなさん、お元気で楽しんで来てください。思い出深い旅となりますようお祈りしています。」との挨拶に見送られ、元気に 2 泊 3 日の予定で北海道へ旅立っていきました。

なお、この「車いす空の旅」については、9 月 7 日付及び 9 月 9 日付 神奈川新聞に、それぞれ掲載されています。



結団式であいさつする平川理事長



元気に出発しました